

幕末の志士

野根山三十三士と

阿波の人びと

土佐の海部刀工中島氏詮の時代

脇指 銘 阿州臣海部氏吉(当館寄託)

刀 銘 建依別國民中嶋氏詮(当館蔵)

平成 28 年

10/30(日) ▶ 2/12(日)

※一部展示替えあり

会場

阿波海南文化村

海陽町立博物館

【開館時間】 9:00 ~ 17:00 (入館は 16 時 30 分まで)

【休館日】 月曜日 (祝日の場合はその翌日) ・ 年末年始 (12 月 29 日 ~ 1 月 3 日)

【観覧料】 大人 300 円 (65 歳以上 150 円)、高校生以下無料

※ 11 月 1 日 ~ 5 日、11 月 13 日、11 月 27 日は、海陽町文化祭・「とくしま文化の日」・「関西文化の日」に合わせて観覧料は無料

主催／海陽町立博物館・海陽町教育委員会 後援／〔徳島県〕美波町教育委員会・牟岐町教育委員会 〔高知県〕高知県安芸郡市町村教育委員会連絡協議会(安芸市教育委員会・室戸市教育委員会・田野町教育委員会・東洋町教育委員会・奈半利町教育委員会・安田町教育委員会・馬路村教育委員会・北川村教育委員会・芸西村教育委員会)

《お問い合わせ》 海陽町立博物館 ☎ 0884-73-4080

企画展の紹介

尊皇攘夷を唱える土佐の志士

本展で取り上げる「野根山二十三士」は、坂本龍馬や中岡慎太郎らとともに土佐勤王党の一員として、「尊王攘夷運動」に身を投じていました。

野根山二十三士事件

投獄された土佐勤王党党首・武市瑞山らの救出のため、清岡道之助らが土佐藩上層部へ歎願書を提出しますが、無視されたため、清岡ら二十三士が決起して野根山を登り、土佐の岩佐番所から阿波へ脱藩します。しかし、結局二十三士は土佐へ送還され、重罪人として奈半利川河原で処刑されました。

土佐と阿波との関わり

二十三士はやむを得ずに阿波に脱藩したことや、穴喰の番所において降伏したなど、阿波とも深い関わりを持っています。県南の海陽町から牟岐町では地元の人々との交流もあり、本展でも数々の資料が展示されます。

幕末の豪刀

本館は数少ない、刀剣を中心に展示している博物館です。今回は幕末期に活躍した「土佐の海部刀工中島氏詮」の作をはじめとする豪刀を中心に展示します。

【関連イベント】

● 海部自然・文化セミナー

第5回「野根山二十三士事件と海部の人びと」

〔日 程〕 平成 28 年 9 月 25 日 (日)

13:30～15:00

〔場 所〕 阿波海南文化村
海陽町立博物館エントランスロビー

〔講 師〕 海陽町立博物館
学芸員 島田佳香

〔定 員〕 40 名

〔受講料〕 無 料

※申込みは不要です。直接お越しください。

● 記念講演会「二十三士に関する基礎知識」

〔日 程〕 平成 28 年 11 月 27 日 (日)

13:30～15:00

〔場 所〕 阿波海南文化村 海南文化館大会議室

〔講 師〕 中岡慎太郎館
学芸員 豊田満広氏

〔定 員〕 60 名

〔受講料〕 無 料

※申込みは不要です。直接お越しください。

● 「野根山二十三士が歩いた道を歩く ～阿波篇～」

〔日 程〕 平成 29 年 1 月 22 日 (日)

13:00～17:00

〔講 師〕 原田英祐氏

〔定 員〕 20～40 名

〔参加費〕 無 料

※要申し込み。

● 海陽町立博物館ボランティア

「さざなみ」の会による展示案内

〔日 程〕 毎週日曜日

(都合により変更する場合があります)

◆ 博物館までのアクセス ◆



阿波海南文化村 海陽町立博物館

〒775-0202 徳島県海部郡海陽町四方原字杉谷73番地

TEL: 0884-73-4080

FAX: 0884-74-3504

HP: <http://www.town.kaiyo.lg.jp/docs/2011042100229/>

f: <http://www.facebook.com/Kaiyo.Museum/>